

市民広場ワークショップ お知らせ便

市民広場ワークショップの情報をお届けします！

Vol.2

2025.3

市民病院跡地周辺について、広く市民に利用され利用したくなる市民広場として整備するため、基本計画の策定を進めています。計画の策定にあたり、市民の皆さんの具体的な要望やアイデア等を把握し、活かしていくために、ワークショップ（意見交換）を行っています。

第2回ワークショップを開催しました

第2回ワークショップを3月8日に開催し、一般応募者や中高生など29名の方に参加いただきました。

第2回では、第1回ワークショップで話し合っていた「市民広場でやってみたいことや、大切なこと」に関する意見やアイデアを踏まえ、皆さんが望まれる『主な利用シーン』のキーワード案（以下の14個）を整理しました。

重視したい『主な利用シーン』で、「どのような利用や楽しみ方をしたいのか、どこですのか」など、より具体的な利用内容のイメージについて、各班で話し合っていたいただき、多くの意見やアイデアをいただきました。主な意見は、次ページ以降にまとめています。

ワークショップは、全3回の開催を予定しており、次回の第3回では、提案内容のまとめと、広場の利用促進に向けた取組みについて話し合う予定です。

皆さんが望む広場の『主な利用シーン』案



■特に多かった「市民広場の主な利用イメージ」

- 広くて四季を通じて気持ちよく過ごせる、ふと立ち寄りたくなる芝生広場
- 自然を感じながら、体験・学習・創作、遊び、交流やイベントを楽しめる場
- 近江八幡らしさや、映える空間をみんなで創り育む場
- 誰もが安心して利用でき、災害時に貢献する広場、など



当日の様子（中高生と一般市民が一緒になった意見交換）

第2回ワークショップの内容(その1)

①芝生広場でゆったりくつろぐ



- キレイで**広くてオールシーズン気持ちよく過ごせる**芝生広場
- 芝生広場でお茶やコーヒーを飲む
- 木陰があり、本を読んだり、動画を見る
- 友達とくつろきながらゆっくり話す
- **芝生に寝転び**青空を見ながら家族で**ピクニック**
- お昼寝する、お昼休憩する
- 家族とおでかけついでにご飯を食べる
- 目的もなしでふらっと立ち寄る
- **広場の中心に芝生広場を整備**
- くつろぎスペースから車道が直接見えない様に**築山や森を配置して囲まれた空間**として整備
- **木陰になり季節を感じる木**を植えたり花畑を整備
- 危なくないように、**くつろぐ場と活動するスペースを区切るルール**をつくる（エリア分け）

②居心地の良いところで休む



- **木立の中の休憩場所**（ハンモックや昼寝のできるベンチ）を設置
- 学びが生まれる読書できる場所
- **屋根付休憩所**や**ベンチ・テーブル**の設置
- テラス席のあるカフェ、パン屋の併設

③自由にのびのびと体を動かして遊ぶ



④気軽に体を動かす



- 鬼ごっこやかくれんぼ、凧揚げ、ペットボトルロケットなどを楽しむ
- **子どもが遊んでいるのを見ながら、カフェで休憩、友人とおしゃべり**をする

- **歩く、ストレッチ、ヨガ、太極拳、ラジオ体操などの軽い運動**を楽しむ
- 子供の友達、家族と一緒に行ってサッカー等のボール遊びをする
- 犬との散歩で利用する

⑤体験する・学ぶ



- 屋外での**自然をテーマにした体験**を提供
- 芝生の上での編み物やヨガ等
- **小高い丘を活用**した長いすべり台で遊ぶ
- 日替り・週替りの催しで**自然素材を利用したものづくり**や、**畑で野菜を作り**、それを使った料理教室に参加する
- **お花畑**を作る
- 動物とのふれあい
- 犬を連れてきて遊ぶ、他の飼い主と交流する、広場に集まる犬を見に来るなど犬を通して交流する
- 音楽や大芸道等のステージを見る
- 月替わりの本が並ぶプチ図書館や移動図書館の設置

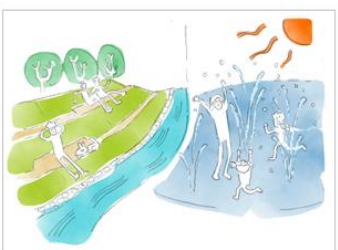
第2回ワークショップの内容(その2)

⑥映える空間を楽しむ



- 自分達でつくる非日常空間で楽しむ
- **イルミネーションや花壇、ベンチ、自然の中のオブジェクトを自分たちで作る**、その中で写真や動画を撮影する
- 地域の中高校生と植物のライトアップなど協力してイルミネーションを作りあげる
- イルミネーションがきれいな屋外や屋根付きの場所で学校帰りに友達とおしゃべりする、友達と休日に勉強する
- 囲われることで世界感に入りこめる「映える」、ジブリ感のある空間づくり
- **自然や八幡らしさ**をベースにつくりこまれていない素朴なデザインで**季節によって変化するオブジェクト**を用意する
- 市民広場の**外周にもみじなどの植栽を植え並木道**を作り散歩できる通りにする
- 花火やミニコンサートなどのイベントを楽しむ
- 永く続く**美しさを保つためのメンテナンス**の方法を考えることが必要

⑦水辺でくつろぐ



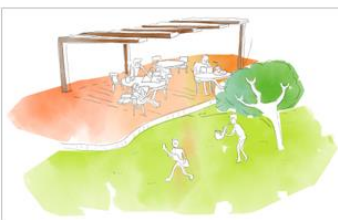
- 小川が流れ、夏はそこに虫がいる空間
- 夏場だけ**水が楽しめる場所**を作る

⑧親子でやすらぎ交流する



- 気分や日によって**自由に使い、自然を通じた交流**ができる
- 親子でガーデニング、野菜を植えるような子供達の教育
- ハイハイ期の赤ちゃんがくつろげる
- 話したい時と1人になりたい時、気分によって使い分けができる
- 屋内、屋根があるやわらかい地面などの**ユニバーサル・デザイン**の導入

⑨安心して好きな活動ができる



- **自然を感じながら作業、会議、勉強**をする
- お弁当を食べる
- ストリートピアノ等色々な**楽器を楽しむ**
- 体操、ヨガなどのスポーツをする
- 仮設のハンモックでゆっくりする
- 地域の園児と高校生が交流する
- お年よりが子供たちが遊んでいる姿を見る
- ハイハイレース、絵本よみきかせの会など小さな子どもづれで参加できるイベントをする
- **天候に左右されない半屋外空間（大屋根）**を作り、多目的に利用できるファニチャーを設ける
- 屋内型の**多目的スペース、学習スペース、シェアスペース**等の整備
- すずしく、コンセントがある閉塞感がなく、入りやすい屋内空間を整備する
- 空間としての統一感を大事にし、極力天然素材の遊具や地形を活かした遊具、モニュメントを作る
- ドッグランを作って交流や災害に活用する

第2回ワークショップの内容(その3)

⑩食を通じた交流を楽しむ



- 地元の食材を食べて、地元の食品を知ってもらう
- カフェやレストランでランチ
- 夏はアイスコーヒーやかき氷が食べられる
- **キッチンカーや移動カフェ、シェアキッチン**の設置
- キッチンカーやカフェでの食の提供
- **テラス席のあるカフェ**、パン屋の併設（再掲）

⑪イベントやマルシェなどに参加する



⑫広場の賑わいづくり活動に参加する



- 月1で食のイベント、**地元野菜のマルシェ**を開催する

- 音楽など**子どもたちが発表**会をする

⑬誰もが安心して利用できる



- 死角にならない閉鎖空間がない防犯面が高い広場の整備
- 防犯につながるライトアップ
- **防犯用の照明**をエリア毎に配置する
- 管理者による監督（こども110番的な役割）
- **公園利用に関するルール作り**
- スロープ等の**バリアフリー**
- **子どもの安全を確保**する環境（屋外、道路、溝など）

⑭みんなで災害に備える



- **日常的な防災活動・イベント**
- 防災ピクニック等を開催し、実際に設置されたかまどベンチ等を利用する機会を設ける（誰でも簡単に使える**防災グッズの体験**）
- ホフマン窯（防災倉庫）で遊べる、見学できる
- 倒壊物などの心配がない、モノを作りすぎない空間づくり
- 災害時にそなえて飲料水、衛生用品などを入れた**防災倉庫**（低温庫）を目立たないように丘の下に設置する
- 災害時に広場のWi-Fi使う
- 災害時にテントを張り、一時避難場所として使用する
- ペットと一緒に一時避難する

ご意見をお待ちしています

ワークショップ参加者の募集は締め切っていますが、市民広場に関する意見は引き続きお待ちしております。

市民広場に関するご意見はこちらから▶



◇ お問い合わせ ◇

〒523-8501 滋賀県近江八幡市桜宮町236番地
近江八幡市 総務部 管財契約課 市庁舎整備推進室
TEL：0748-36-5577 FAX：0748-32-3237